

Title	2017年度『学会賞』選考結果
Sub Title	Award
Author	岸田, 和明(Kishida, Kazuaki)
Publisher	三田図書館・情報学会
Publication year	2017
Jtitle	Library and information science No.78 (2017.) ,p.146- 146
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00003152-00000078-0146

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2017 年度『学会賞』選考結果

学会賞選考委員会委員長
岸 田 和 明

三田図書館・情報学会賞は、会誌である Library and Information Science に掲載された優れた論文に与えられる賞です。本年度は 76 号と 77 号に掲載された原著論文 8 編を対象に厳正な審査を行った結果、以下の論文を学会賞として選考しました。

山崎沙織. 「本を読む母親」達は誰と読んでいたのか: 「創作グループ」の長野県 PTA 母親文庫からの離脱をめぐって. Library and Information Science. 2017, no. 77, p. 117-148.

[授賞理由]

本論文は、長野県上田市において 1960 年代から活動していた「上田市 PTA 母親文庫創作グループ」(以下、「創作グループ」)に焦点を当て、それに関与した母親たちの読書活動の変化を、当時の種々の記録類の分析やインタビューに基づいて調べたものである。その結果として、母親文庫の活動が 1950 年代から 60 年代にかけては母親自身の読み書きを主体としていたのに対して、次第に子どもの読書推進への志向が強まり、それが中心となっていった点が明らかにされた。このことが「長野県 PTA 母親文庫」から「創作グループ」が離脱した一因となったわけであり、その変化の経緯が的確な引用に基づいて、鮮明に描写されている。これによって、当時の女性の社会的立場や学習意欲、それらに対する図書館員・学校教師の影響を浮き彫りにすることに成功しており、いわゆる「親子読書」推進にいたった背景を克明につづった優れた分析結果として高く評価できる。この点で、長野県の一地域におけるひとつの出来事を中心とした分析ではあるものの、日本における読書活動の歴史的な解明や公共図書館の社会教育的機能の再考にも貢献しうる研究成果と言ってもけっして過言ではない。文章は読みやすく、議論の展開も秀逸であり、今後さらに分析対象が広がることへの期待を込めて、学会賞に値すると判断した。